

系所組別 台灣文學系

考試科目· 外文文學文獻解讀(日文)

考試日期：0306· 節次：4

※ 考生請注意：本試題 可 不可 使用計算機

【此考科可攜帶紙本字典入試場】

一、「資料一」是吳新榮發表於『臺灣文學』第二卷第三號(第五號)上的一篇當年膾炙人口的文章。請(25%)

- (1) 將「資料一」這篇文章影印出來的片段翻譯成中文
- (2) 介紹「資料一」這篇文章的作者，及這篇文章整篇的大致內容。

二、「資料二」是葉榮鐘發表於『臺灣青年』第二卷第一號(1921年1月)上的一篇文章。請：(25%)

- (1) 將這篇文章最後兩段翻譯成中文。
- (2) 介紹作者葉榮鐘，及本篇文章的內容大要。

三、試將下列日文文獻譯為中文(25%)

・xx雜誌社からで、「第x號の原稿は皆集つた。君の原稿を待つて印刷に廻す」と言ふのであつた。こゝ數年來何時も叫びたいことで心の中が一杯だつた點に變りはないにしても從來は書いても仲々發表する機會が容易に得られなかつたから我慢が出来たが、今度と言ふ今度は、文學運動が本格的になつて來て居り、切實に自分のものが求められてゐるに拘らずそれを書かないで置くといふことは、何と言つても我慢のしやうはないのであつた。私は直ちに仕事場を片付けて、ミシンを机にして原稿用紙をのべペンを握つて目を光らした。

—楊逵「難産」(1934.11.12日付)、『楊逵全集第四卷』所收、台北·國立文化資產保存研究中心、1998年、183頁より—

四、試將下列日文文獻譯為中文(25%)

・よく知られているように1946年8月に新聞の日本語欄の廃止が決定され、10月に実施されるのだが、その決定が公表されるや各地に反対運動が起り、各県市の参議会で反対決議が行われ、また新聞紙上でも活発な討論が行われた。こうした議論がすべて無視される形で日本語欄が廃止されたことは、2・28事件の潜在原因のひとつとなつたとも考えられるが、こうした過程は、日本語が自らの思想を表現する重要な手段であるということ強く意識させたものと思われる。日本語の「内部化」である。……日本語欄の禁止はいわば言語の問題だけにとどまらず、台湾人独自の言論空間の消滅を意味していたものと思われる。

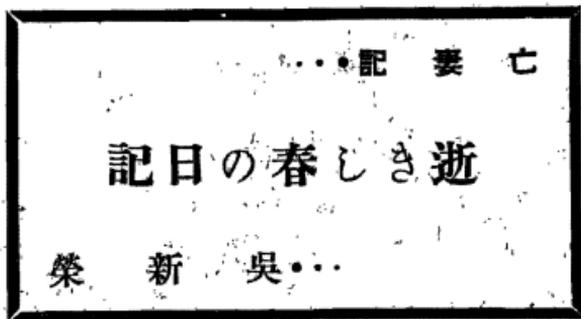
—松永正義『台湾文学のおもしろさ』、東京：研文出版、1995年、211頁より—

(背面仍有題目,請繼續作答)

系所組別： 台灣文學系

考試科目： 外文文學文獻解讀（日文）

考試日期：0306・節次：4

※ 考生請注意：本試題 可 不可 使用計算機

資料

日記は生活の備はざる記録である。
日記は自己の心の通過器である。
日記は子孫への贈しき遺書である。
日記は人生の單なる過程表である。

三月二十七日(晴)

昨晚友達と團圓してゐる時に妻の里大甲から電話が来た。妻は九時過ぎ風呂から上がったて急に重態に陥つたとのことだつた。早速タクシーを呼んで十一時過ぎに大甲に着いた。その間約一時間であるが、私は何んだか数時間かゝつた様な気がした。私は初めから豫感が悪くて色々な場面を想像して見たりした。然し幾ら悪くても死ぬ様な事がないだろうと又自から打ち消したりした。多分私が行つたら布団の中でこの別れた二三日間の出来事を面白く書いて下れるだらうと思つた。先日本居地の墓地製理中曾祖母の墓から立派な騎卒の魂環を發掘したことや、一昨晚酒場で酒にもなく或る有力者と喧嘩しかゝつたこと等をきかしてやうとむしろ楽しみ下してゐた。

然し向ふに滑いて見たら意想外の重態なのに驚いた。全身蒼白で息も絶え／＼の状態であつた。繼母の話に依ると幾初上腹部の疼痛を訴へたので義兄即ち彼の長兄が鎮痛劑を注射してやつたとのことだ。然し貧血の状態がよくならなかつたのでB醫師を迎へてリングル氏液や葡萄糖液を注射して今の様に意識が幾分か回復してゐること。それでも自分は一見して安心が出来ないと思つて早速ロラミンやビタカンファを數筒注射してやつたが、状態は依然としてよくならない。意識は明瞭に明瞭であるが自分の問ひに對しては只「苦しい」と云つてゐた。「自分がそばに来てゐることを知つてゐるか」ときいたら「知つてゐるが何も話したくない」と答へた。このまゝでは到底駄目だと思つて「一層暴雨へ行こうではないか」ときいてやつたら「さうしなければどうする」と明瞭に云つてくれた。

系所組別 台灣文學系

考試科目 外文文學文獻解讀(日文)

考試日期：0306・節次：4

※ 考生請注意：本試題 可 不可 使用計算機

資料二

現代の臺灣青年は動もすれば感情に囚はれて、自我を忘れる傾向があるやうに思はれる。それが原因となつて所謂覺醒したものは終日政府に對する不平を鳴らしてゐるものがある。いや吾輩自身も確かに一方の大將であつた。それがお役人さんの注意を引いたと見えて、東京へ出る前の三四日はお巡りさんが毎日のやうに家に來て敬意を表した。然し今日の吾輩はもうそんな愚痴は零さぬ。

唯吾々が自我を忘れて不平を事とするのは無駄であることを知つたからだ。吾々が政治を批難するのは餘りに早や過ぎる。否、批難する前に吾々がなさねばならぬ大切な事のあることを知つたからだ。

一體政府と云ふものは悟も馬夫の如しである。馬に水を飲ませるに川岸迄では無理でも引張つて往けるが、水を飲むか飲まぬかは馬そのものの自由意思に任すより外仕方がない。また犯罪人に刑罰を加へて再び犯罪しないやうに戒めるやうな消極的な手段は出来るが、犯罪人に犯罪意思を起させないやうにすることは犯罪人自身でなければ出来る筈はないのである。換言すれば政府が如何なる政治を行つても物質的方面ならいざ知らず、精神的方面に於ては人民に到底根本的に何等の影響をも及し得るものもなく、及し得るのは矢張り人民自身であると思ふ。それだからそのやり方がよければそれでよいが、よし悪くても別に大したことがない。愚痴を零すに及ばぬのである。

然らば我が同胞は自分果して何をして居るか、何もしてゐないか。いや一部分してゐるものもあるが一寸方面が違ふ。彼等は財産の爲めに生を賭して居る。權勢の爲めに苦心して居る。彼等は一家安全を神佛に願ふよりもお役人さんや權力者に好意を持たせるに限ると心得て居る。それが爲めにあらゆる時

已に紫めよ

六三

(背面仍有題目,請繼續作答)

系所組別 台灣文學系

考試科目 外文文學文獻解讀(日文)

考試日期：0306・節次：4

※ 考生請注意：本試題 可 不可 使用計算機

—— 年 青 海 產 ——

代錯誤の悲喜劇を演じて居る。お役人さんの御氣に入るやうにと和服を着て變な格好をしながらも尙肩が廣ひ様に覺え、尻が痛くても疊に座つた爲めなら我慢が出来来る。而して刺身でも喰はないとなんとなく時代おくれのやうに愚つてゐる。

我々は中日親善の媒介者であると言口に唱へ乍らその媒介者たるべき資格は少しも修養して居ない。文字言語を積極的に研究しないのは未だ好いが、或る一部分の奴は日本政府の勢力を假りて隣國の同胞を虐めて媒介の道を塞いで居るではないか。これらに對して我々は何等かの道を講じたら好からうか。その他家族制度の腐敗、衛生思想の低級、阿片吸食の陋習、信仰生活の墮落等の如き缺點を有する我が社會の改革を眞面目に計るものがあらうか。吾々は政府の副業的の姑息手段や賣名家の道樂半分にこの社會改良の大事業を任す譯には往かない。吾々は吾々の手に依つて新しい臺灣を築きあげなければならぬ。臺灣はやはり吾々の臺灣であり、缺點はやはり吾々の缺點である。吾々は他まで人類社會の一員として生存し人類社會の一員として平等に文明の恩澤を受くる権利があると共に世界に貢獻する義務を負ふべきである。然し臺灣の文化は未だ世界文化と比べものにならない、少くなくとも二三世紀は遅れて居る。故に吾々は若し今日の世界に存立しやうと思へば即ち非常な努力で先づ自己の文化を自分で開拓しなければ覺えない。吾々は吾々の運命を開拓するには必死的の努力でなければ駄目だ。吾々は政府に對し不平を鳴す餘裕を持たない。吾々は須く己に求めなければならぬ。而も一部分の人の力では心細い三百五十萬の同胞の總動員でなくては……